

言語、コミュニケーション、文学、芸術などの分野

推薦図書書名	著者・訳者名	出版社等	出版年	推薦教員
日本語は年速一キロで動く	井上史雄	講談社 現代新書	2003	岸江信介/ 塩川奈々美
参考図書	真田信治『地域・ことばの生態』や真田信治監修『関西弁事典』のほか、大西拓一郎編『新日本語地図』などは主にことばの地域差を取り上げています。いずれも地域言語の研究のダイナミクさが満喫できる本です。(岸江) 井上史雄氏が世代差や地域差による日本語の移り変わりを明快に説く本として、他に『日本語ウォッチング』(1998年, 岩波新書)『変わる方言 動く標準語』(2007年, ちくま新書)があります。(塩川)			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	日本の地域言語研究では定評の井上史雄氏の研究成果をまとめたものです。新方言の東京への流入など、生きた方言の伝播メカニズムを説いています。言語地図やグロットグラムを駆使しており、決して概説的とは思えない研究内容が含まれており、方言に興味のある人にはぴったりの本です。(岸江) 1980年代頃から「ウザイ」は若者言葉として東京都内に広まり、今では全国で使われています。では、とある地域の70代が話す「ウザイ」は果たして「若者言葉」なのでしょうか？最近使われるようになった表現が実は地方から東京に逆流した方言だったということがあります。本書は、今では当たり前前に全国各地で使われている日本語の様々な表現と方言との関係について、緻密な調査の結果に基づき紹介しています。普段何気なく使用している言葉の裏側に目を向け、考え、気づく—そんな機会にしてもらえたらと思います。(塩川)			
日本語は親しさを伝えられるか	滝浦真人	岩波書店	2013	塩川奈々美
参考図書	本書の背景にある理論の一つに「ポライトネス理論」がありますが、これをわかりやすく解説した『ポライトネス入門』(2008年, 研究社)がお勧めです。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	日本語における「標準語」「共通語」「方言」の違いは何でしょうか。「標準語」「共通語」「方言」の違いは日本人のコミュニケーションにどう影響するのでしょうか。日本語の史的背景にも触れながら、日本語を用いた挨拶やコミュニケーションの在り方について考える一冊となっています。コミュニケーションを行う上で日本語が担う役割や意味について考えてみませんか。			
日本語と外国語	鈴木孝夫	岩波新書	1990	依岡隆児
参考図書	姉妹編の鈴木孝夫『ことばと文化』もロングセラーの本です。併せて読むことをお勧めします。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	言葉は世界のとらえ方でもあります。言葉が違えば、世界の切り取り方も違います。だから外国語の単語をそのまま日本語に移すというわけにはいきません。この本は言葉の叙述機能について豊富な例を使って外国語と比較しながら紹介している本です。文化の比較や言葉に関心のある人に薦めたい本です。			
異文化理解	青木保	岩波新書	2001	依岡隆児
参考図書	推薦図書一冊だけでよいが、余裕のある人は青木保『多文化世界』(岩波新書、2003年)			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	グローバル化する世界における文化の重要性を説いており、文化や外国のことに関心のある人に薦めたいと思います。			
ベスト・パートナーになるために—男と女が知っておくべき「分かち愛」のルール 男は火星から、女は金星からやってきた	John Gray	笠書房	2001	服部恒太
参考図書				
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	人が生きていく上で学ぶ必要があるのだけど、教育機関では学べないことがある。その一つを教えてくれるのがこの本。男女の関係だけでなく人間関係を考えたとき必要なコミュニケーションの取り方を考えさせてくれる本。			
三四郎	夏目漱石	岩波文庫	1990	堤和博
参考図書	『それから』『門』、森鷗外『青年』。各種文庫本などで出ています。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	諸君と同様に大学に入学したて(ただし、制度上様々な相違もあり)の小川三四郎の物語を、この機会に一度通読して下さい。物語中には、“美禰子は誰を愛していたのか”などの謎(物語中に明記されていない事柄)があります。それらに対し、“～だと思う”とか、“～だったらおもしろい”とかいう〈感想〉ではなく、“～から考えると、～だと読み取れる”といった〈考察〉や〈論〉を期待しています。			

言語、コミュニケーション、文学、芸術などの分野

推薦図書書名	著者・訳者名	出版社等	出版年	推薦教員
わたしを離さないで	カズオ・イシグロ	ハヤカワepi文庫	2011	吉田文美
参考図書	2017年にノーベル文学賞を受賞した日本生まれの英国作家の作品です。他にも『日の名残り』『浮世の画家』など、多数の小説が翻訳されているので、余裕があれば読んでみてください。			
備考 (推薦図書選択のヒントなど)	隔離された施設「ヘルーシャム」で育った「介護人」キャシーが自分の生き立ちを語る一人称小説です。1990年代末のイギリスを舞台としていますが、近未来SF的な設定となっています。日本でドラマ化もされていますが、ドラマを見ない状態で(あるいは見た内容は忘れて)読むことが望ましいです。			
ハツカネズミと人間	ジョン・スタインベック	新潮文庫	1994	吉田文美
参考図書	スタインベックの小説も多くのものが翻訳されています。『怒りの葡萄』『エデンの東』等の長編が有名ですが、『赤い子馬』などの短編小説も面白いです。			
備考 (推薦図書選択のヒントなど)	世界大恐慌時代のカリフォルニア州を舞台に、2人の季節労働者ジョージとレニーの悲劇を描く中編小説です。4日間の間に起こる出来事が情景描写と登場人物の間の会話のみで描かれます。映画化されていますが、映画を見ないで先に小説を読むことを勧めます。			
スター・ウォーズの精神史	小野俊太郎	彩流社	2015	宮崎隆義
参考図書	同じ著者で、『ゴジラの精神史』(彩流社)、『モスラの精神史』(講談社現代新書)や『大魔神の精神史』(角川oneテーマ21 新書)の他に、『フランケンシュタイン・コンプレックス』(青草書房)、『『ギャツビー』がグレートな理由』、『フランケンシュタインの精神史』(ともに彩流社)などがあり、SF好きな人におすすめかもしれません。			
備考 (推薦図書選択のヒントなど)	私が中学生の頃から見続けている映画シリーズに、『スタートレック』と『スターウォーズ』がありますが、この作品がアメリカでしかも70年代に着想されたということから、アメリカにとっての「帝国」の意味がどう投影されているのか、また「西部」というものがアメリカの世界観を知る上で大いに参考になります。どちらの映画にも多様な異星人が出てきますが、それは「西部開拓」以来人種や民族の「垣塙」を描いてきた伝統を反映しているし、先住民への白人優位の歴史や、戦争の前線に兵士を派遣する戦争国家としてのアメリカの現実をも反映していることかわかります。合言葉「メイ・ザ・フォース・ビー・ウィズ・ユー」が何のもじりなのかを考えるのも面白いです。			
博士の愛した数式	小川洋子	新潮文庫	2003	宮崎隆義
参考図書	非常に繊細で優れた小説家の一人で、他に『妊娠カレンダー』、『薬指の標本』、『刺繍する少女』、『やさしい訴え』、『ホテル・アイリス』などがあります。			
備考 (推薦図書選択のヒントなど)	事故のために記憶が80分しか持たない数学の博士と家政婦との軽妙でかつ心温まる交流、それに家政婦の子供も加わり、文学作品に数式が持つ不思議な魅力を巧みに盛り込んだとても感動的な作品です。私も高校時代、数学の先生の影響で現代数学にはまって数学を目指したことがありましたが、小説という虚の世界と数学の世界がつながっていることをこの小説が改めて示してくれました。恐らく、数学が苦手な人も数学が好きな人も、数学の果てしなくも神秘的で魅力的な世界を味わうことができる希有な作品で、小説としての完成度も非常に高いものです。			
イリヤ・ムウロメツ ※『筒井康隆コレクションVII朝のガスパール』(出版芸術社、2017)に収録	筒井康隆(手塚治虫挿絵)	講談社	1985	大淵朗
参考図書	ブリーナの翻訳は中村喜和「ロシア英雄物語」(平凡社)で読めます。このイリヤ・ムウロメツの他にリムスキー＝コルサコフの歌劇「サトコ」の原作になる「商人サトコ」(ロシア版浦島太郎と言った所の話)も入っていて、どちらも読んでいて楽しい。リムスキー＝コルサコフの歌劇も大変楽しくてちょっと悲しい話(このヴォルホバ川になってしまう海王の娘の話は叙事詩には無いのですが歌劇の中のとても素敵な話)になっています。他にロシアの叙事詩で有名な「イーゴリ遠征物語」(岩波文庫、こちらはボロディンの未完の歌劇「イーゴリ公」の原作)もお勧めです。			
備考 (推薦図書選択のヒントなど)	ロシアの叙事詩は大変面白いものが多いのですが、このイリヤ・ムウロメツはその一つである「ブリーナ」の一部です。イリヤ・ムウロメツの話は筒井康隆が子供の頃にとっても気に入っていた話なのだそう。この本は筒井康隆作ですが、実際は、ほぼ翻訳です。参考図書に挙げた中村喜和がこの本の後書きを書き、あるいは中村喜和が協力したのかも知れません。ですので遠慮して「筒井康隆作」なんではないかな、と思っています。ですから本の内容は翻訳色が強く、筒井ワールドを期待してはいけませんが、気は優しく力持ちの、ロシアの発祥の地ノヴゴロドの英雄イリヤ・ムウロメツの話は桃太郎さんと言うか北斗の拳のケンシロウみたいで楽しいですよ。やっつけられる悪い奴らも、もう北斗の拳の悪い奴らとか悪役プロレスラーみたいで、イリヤ・ムウロメツのやっつけ方も実に痛快です。この本は手塚治虫が挿絵を描いていて、これがまた素敵な仕上がりになっています。絶版なのですがamazonには中古が沢山ありますので簡単に手に入ります。			

言語、コミュニケーション、文学、芸術などの分野

推薦図書書名	著者・訳者名	出版社等	出版年	推薦教員
墨攻	酒見賢一	文芸春秋	2014	大淵朗
参考図書	墨子を描いた小説は魯迅の「非攻」とか幸田露伴の「墨子」(幸田露伴の「墨子」は小説でなく研究書ですが)が有名です。また、酒見賢一作の小説の話は「呂氏春秋」上徳篇の話の続きみたいな内容ですから参照してみても良いかも。また、この小説は漫画にもなっていて(漫画の作者は森秀樹、全10巻)漫画の最初の三巻位は小説を結構なぞっています。漫画はかなりグロイ描き方である上に、後半はもう完全に創作なので積極的にはお勧めしませんが、最初の三巻くらいは衣装や人物の様子など結構見るべき物もあります。この主人公は実在の人物ではなく作者の創作ですが、この様子は「墨子」備梯篇や「莊子」の天下篇などの記述から来る印象に近い気がします。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	センター試験の倫理を受験した人は間違いなく勉強したことのある「兼愛交利」、「非攻」を主張する墨子集団(墨家)の一派である人を主人公にした話。全ての人を平等に愛し人に戦いは挑まないが、売られた戦争には必ず受けて立つ超過激集団の話。何故か思想の一部に、これって数学じゃないかと思える思想がある諸子百家の一つです。何で数学みたいな思想の持ち主が戦争請負人になるのか不思議なのですが、その大変変わった人達の生き様はある意味面白い。小説では数学みたいな思想については全く触れられていませんが、ほぼ傭兵であるのに、何故か人には絶対攻め込まない人達の様子は生き生き書かれています。この考え方や生き方は全くついていけないのですが、部外者として読むのは大変面白いです。「兼愛交利」や「非攻」ってこういう事なのですよ！センター試験で倫理を勉強した皆さんは、そう思っていましたか？			
20世紀美術	高階秀爾	筑摩書房	1993	平木美鶴
参考図書	以下は、図版も多く、読みやすい本である。カラー版 - 近代絵画史(下)増補版 - 世紀末絵画、ピカソ、シュルレアリスム(中公新書)、カラー版 - 近代絵画史(上)増補版 - ロマン主義、印象派、ゴッホ(中公新書)			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	20世紀の美術は、多様な動きを示し、抽象絵画出現以降は難解だと敬遠されることも多い。21世紀における現代美術を見るときも同じことが言えるがそのような美術を理解するガイドとして最適な1冊である。			
マグダラのマリア エロスとアガペーの聖女	岡田温司	中公新書	2005	井戸慶治
参考図書	キリスト教聖画の中でも例外的になまめかしい姿で描かれることの多いマグダラのマリアについて、美術のみならず、宗教、社会史、文学などの面からも考察した書。ルネサンスやバロックの絵画で、彼女は悔い改めた娼婦としてしばしば表現されているが、聖書の記述に遡れば、彼女は娼婦とは何のかかわりもない、キリストの有力な女弟子であったことが本書ではまず確認されている。ではなぜ上述のような描かれ方をするようになったのか。いずれ卒論を書くことになる文系の学生さんには、文献調査にもとづく考察のお手本としても薦めたい。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	キリスト教聖画の中でも例外的になまめかしい姿で描かれることの多いマグダラのマリアについて、美術のみならず、宗教、社会史、文学などの面からも考察した書。ルネサンスやバロックの絵画で、彼女は悔い改めた娼婦としてしばしば表現されているが、聖書の記述に遡れば、彼女は娼婦とは何のかかわりもない、キリストの有力な女弟子であったことが本書ではまず確認されている。ではなぜ上述のような描かれ方をするようになったのか。いずれ卒論を書くことになる文系の学生さんには、文献調査にもとづく考察のお手本としても薦めたい。			
黄金の壺	E.T.A.ホフマン 著、神品芳夫訳	岩波文庫	1974	井戸慶治
参考図書	この作家が気になる人や作品が気に入った人には、岩波文庫の『ホフマン短篇集』(池内紀訳)や国書刊行会「ドイツロマン派全集」の中の『ホフマン』『ホフマンII』などがある。さらにホフマン漬けになりたい人には、創土社の『ホフマン全集』全9巻がある。名作バレエ『くるみ割り人形』『コッペリア』、オペラ『ホフマン物語』の原作もこの人の作品。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	要領の悪い学生アンゼルスは、街を歩いているとりんご売りの婆さんの籠に足を突っ込みひどい目に会うが、エルベ河畔のニワトコの枝で戯れる緑の小蛇に魅せられる。…文学作品なので、論理的な作品とはレポートの書き方が少し異なる。まずはテキストをよく読んで、自分の感じたこと、考えたこと、興味深いと思ったことを中心にして、それが説得力をもって読み手に伝わるように書くとよい。			
アンティゴネ	ベルトルト・ブレヒト 著、谷川道子訳	光文社文庫	2015	吉田昌市
参考図書	原著(ギリシア悲劇 ソフォクレス「アンティゴネ」)は、岩波文庫に新しい訳があります。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	国家との対立・相克という原著の主題を受け継ぎ、第二次大戦後すぐという時代の視点から、原著を改作したもの。原著については、参考図書欄を見てください。			

※ 参考図書(関連本をもっと読んでみたい、あるいは、別の観点から対象を見てみたい、という人のための本)

政治、経済、歴史、地理、社会学などの分野

政治、経済、歴史、地理、社会学などの分野				
推薦図書書名	著者・訳者名	出版社等	出版年	推薦教員
トランプのアメリカに住む	吉見俊哉	岩波新書	2018	吉田昌市
参考図書	鳩山友紀夫／白井聡／木村朗			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	「はじめに」も含めると8つの章に分かれています。それぞれテーマが違いますから、全部を取り上げると総花的になってしまいます。一つあるいは二つのテーマに絞って書いてください。			
国体論－菊と星条旗－	白井聡	集英社新書	2018	石田三千雄
参考図書	同じ著者の『永続敗戦論－戦後日本の核心－』(講談社＋α文庫、2016年)は、戦後の日本の政治の動向を永続敗戦レジームとして解釈した現代の古典です。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	平成が終わり、天皇が代替わりするとき、わたしたちは日本という国家を改めて見つめ直す必要があるでしょう。「国体」という概念によって戦前と戦後の日本に一貫するものを読み解こうとする著者の試みは斬新であり、刺激的です。鬼畜米英を唱えた戦前の国体が、対米従属の戦後の国体に接続され現在に至っている逆説が、日本の政治の現状を規定しているでしょう。			
誰がこの国を動かしているのか	鳩山友紀夫／白井聡／木村朗	詩想社新書	2016	今井晋哉
参考図書	白井聡『永続敗戦論－戦後日本の核心』(講談社＋α文庫、2016)。論旨明快で小気味よい語り口の本書により、推薦図書でとりあげられている諸問題の根の深さを歴史的に理解することができます。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	表題の通り、この素朴な疑問に対し目から鱗の指摘がふんだんに含まれています。新安保法制・沖縄基地問題から原発再稼働・従軍慰安婦問題・拉致問題まで、それらに通底する戦後(アジア太平洋戦争後)日本の深層を暴こうという野心的な鼎談の記録です。キーワードは「対米従属」。今日の日本の政治について考えるために、時間的にも空間的にも広い視野を提供してくれる本書は必読の図書の一つです。			
「憲法改正」の真実	樋口陽一／小林節	集英社新書	2016	今井晋哉
参考図書	同じ集英社新書2017年刊の長谷部恭男／石田勇治『ナチスの「手口」と緊急事態条項』。憲法に無造作に緊急事態条項を盛り込むことの危険性を歴史的・実証的に教えてくれます。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	本書の著者はいずれも著名な憲法学者ですが、もともと日本国憲法改定については立場を異にしています。今回そのお二人が近年の政治情勢を踏まえて、立憲主義・民主主義・「個人」・権利と義務・緊急事態条項・九条改定などの観点から、自民党の「憲法改正草案」を読み解き、そこに隠された意図を明快にあぶりだしています。憲法改定論議を考えるとときの必読の図書の一つです。			
日本会議の研究	菅野完	扶養社新書	2016	中島浩二
参考図書	アメリカのトランプ政権誕生、イギリスのBrexit、安倍政権による特定秘密保護法制定や米軍の辺野古移転に伴う埋め立て強行など、保守(?)的流れが加速している。日本において、そのようなイデオロギー形成に重要な役割を果たしているとされる「日本会議」について深く掘り下げた意欲作。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	TPP参加強行採決、安保法制強行採決、特定秘密保護法制定、森友学園・加計学園疑惑、文科省や財務省、経産省官僚の忖度にみられる官邸による圧力、厚労省による労働時間データ改竄、官邸圧力による統計不正疑惑、沖縄の民意を無視した米軍のための辺野古埋め立て強行等、安倍内閣になってから枚挙にいとまがない強行的政策や疑惑のもみ消し操作が報道されているが、それを支える右翼イデオロギーを扇動する宗教団体の存在についてよく知り、よく考えてほしいと思います。			
代議制民主主義－「民意」と「政治家」を問い直す	待鳥聡史	中公新書	2015	柴田堯史
参考図書	この一冊で十分ですが、「議会」と「民主主義」との関係については、カール・シュミット『現代議会主義の精神的状況 他一篇』、ハンス・ケルゼン『民主主義の本質と価値 他一篇』(ともに岩波文庫、2015年)に挑戦してみてください。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	著者はドイツ近代史で多くの業績を上げた著名な歴史学者です。皆さんも中高で「ワイマール憲法は世界初の民主的な憲法」「社会権を導入した」とポジティブな評価を習ったと思いますが、なぜヒトラー率いるナチスの独裁を許したのでしょうか。このことを考える上で非常に大切な一冊です。			

政治、経済、歴史、地理、社会学などの分野

推薦図書書名	著者・訳者名	出版社等	出版年	推薦教員
ワイマル共和国—ヒトラーを出現させたもの	林健太郎	中公新書	1963	柴田堯史
参考図書	この一冊で十分ですが、「ワイマール憲法」そのものについては、高田敏・初宿正典(編訳)『ドイツ憲法集[第7版]』(信山社、2016年)、この憲法の問題点を鋭く指摘したものとしてカール・シュミット『現代議会主義の精神的状況 他一篇』(岩波文庫、2015年)に挑戦してみてください。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	著者はドイツ近代史で多くの業績を上げた著名な歴史学者です。皆さんも中高で「ワイマール憲法は世界初の民主的な憲法」「社会権を導入した」とポジティブな評価を習ったと思いますが、なぜヒトラー率いるナチスの独裁を許したのでしょうか。このことを考える上で非常に大切な一冊です。			
社会的共通資本	宇沢弘文	岩波新書	2000	清水真人
参考図書	本書は、ミルトン・フリードマン等による市場原理主義の考え方を真っ向から批判するものである。フリードマンの著書『資本主義と自由』も合わせて読むと本書への理解がより深まるであろう。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	社会的共通資本とは、私たち一般市民が豊かな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を安定的に維持することができるようにするための社会的装置である。本書では、社会的共通資本としての農業、都市、学校教育、医療、金融制度、地球環境について取り上げられ、その問題点とあるべき姿について論じられている。			
貧困のない世界を創る—ソーシャル・ビジネスと新しい資本主義	ムハマド・ユヌス (猪熊弘子訳)	早川書房	2008	清水真人
参考図書	本書は内容が平易であるため、語学の勉強にも最適である。原書であるCreating a World without Povertyとそのオーディオブック版も是非利用してほしい。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	ソーシャル・ビジネスとは、利益の最大化ではなく、貧困、教育、健康、環境問題といった社会的問題を解決することを目的に営まれる事業である。現在の資本主義、株式会社制度によりどのような弊害が生じているのか、ソーシャル・ビジネスはそれらの弊害を克服する手段となり得るのか、本書を通じて考えてほしい。			
グーグルマップの社会学—ググられる地図の正体—	松岡 慧祐	光文社新書	2016	塚本章宏
参考図書	矢野桂司『地理情報システムの世界—GISで何ができるか』(ニュートンプレス選書、1999)を合わせて読むことで、推薦図書が取り上げているグーグルマップの基礎になるデジタルマップの構造や概念を理解することができます。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	普段何気なく使っているグーグルマップですが、グーグルマップが登場したことで、地図やデジタルマップの概念が現代社会の中で大きく変化しました。本書は、グーグルマップ登場の前後の歴史や、現代社会に与えた影響や役割をわかりやすく解説してくれています。			
地方にこもる若者たち —都会と田舎の間に出現した新しい社会—	阿部真大	朝日新書	2013	矢部拓也
参考図書	御気楽お気楽、色々な社会学を知りたい方には『古市くん、社会学を学び直しなさい!!』光文社新書、2016を読んでみて下さい。適当な軽やかな人間と結構真面目に社会を考える人間がいることが分かります。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	帯には、「地方都市はほどほどパラダイス 満員電車、高い家賃、ハードな仕事……。もう東京には憧れない。気鋭の社会学者が描き出す、地方が見えてくる新しい日本」とあり、社会学に興味がある方にお薦めです。80年代からのJポップの変容なども対象にしており、身近なものから社会を語る視点をもつことができます。			

政治、経済、歴史、地理、社会学などの分野

推薦図書書名	著者・訳者名	出版社等	出版年	推薦教員
架空論文投稿計画 —あらゆる意味ででっちあげられた数章	松崎有理	光文社	2017	矢部拓也
参考図書	私が大学時代に出版されたものではありませんが筒井康隆『文学部唯野教授』(岩波書店, 1990)も合わせて読むと大学についてよく分かります。2000年に岩波現代文庫として出ております。真面目に論文を書こうと考えるなら高根正昭『創造の方法学』(講談社現代新書, 1979年)も合わせて読むと科学的研究方法となどということなのかが明瞭になります。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	大学に入ったら論文を書かなくてははいけません。おもしろい論文なんて書けるのか? パロディではありますが、「経済学者は猫よりも合理的なのか? ”反据え膳行動”を通して判明した最も合理的な生物とは」など魅力的な論文を書くための世の中の見方が満載です。科学的に検証可能な形で世の中を見るとはどうということなのかを体感して下さい。			
地方消滅 東京一極集中が招く人口急減	増田寛也	中公新書	2014	田口太郎
参考図書	社会的に大きなインパクトとなった地方消滅論に真っ向から立ち向かう、日本の農山村政策の第一人者小田切徳美「農山村は消滅しない」(岩波新書)をセットで読むと良いと思います。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	岩手県知事から総務大臣となり、その後「日本創生会議」を立ち上げ、現代の地方創生の立役者ともなった著者による人口推計をベースとした問題作。この問題提起によって日本中の自治体が「人口ビジョン」を策定することとなり、「地方創生」に大きなインパクトを与えている。読む限り日本の地方の現実的厳しさがひしひしと伝わってきますが、同時に参考図書に挙げたものとセットにして読むとバランスが取れるかもしれません。			
『アナール』学派と社会史—「新しい歴史」へ向かって—	竹岡敬温	同文館	1990	平井松午
参考図書	マルク・ブロック『フランス農村史の基本性格』、同『封建社会』、フェルナン・ブローデル『地中海』、イマニュエル・ウォーラーステイン『近代世界システム』			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	ここに紹介した図書は、歴史学研究において一つの大きな流れをつくったフランスのアナール学派と呼ばれる歴史研究の解説書です。アナール学派は農村史、社会史、物価史、経済史、人口史、心性史などについて、実証性(データ)にもとづいた研究スタイルで知られています。新入生の皆さんが、参考図書として紹介した個々の専門書をいきなり読むのは難しいかもしれませんが、推薦図書としてあげた本書は、そうしたアナール学派の研究史をダイジェスト版で紹介しています。歴史学に興味のない人でも、大学という場で「研究」を行う際に、どのように問題意識を設定すべきか、どのように課題を論証すべきか教えてくれます。本書や参考図書も附属図書館に所蔵されていますので、ぜひ「知の世界」に浸ってみてはどでしょうか。			

※ 参考図書(関連本をもっと読んでみたい、あるいは、別の観点から対象を見てみたい、という人のための本)

心理学、科学論、統計学、生物学、スポーツなどの分野

推薦図書書名	著者・訳者名	出版社等	出版年	推薦教員
僕は吃音ドクターです。	菊池良和	毎日新聞社 出版	2011	佐藤裕
参考図書	吃音に関する知識が少ない場合、「子どもがどもっていると感じたら：吃音の正しい理解と家族支援のために」大月書店、「吃音」学苑社、「新吃音者宣言」芳賀書店、等で補ってください。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	幼少期の頃から吃音に悩む筆者の半生記を読み、吃音、言語障害そして障害全般に対する教育・社会における問題点・解決法を論じて頂きたい。			
進化しすぎた脳	池谷裕二	ブルーバック ス	2007	山本哲也
参考図書				
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	本書は、神経科学などの多様な研究領域の知見を紹介することに加え、「心が存在する意味はあるのか」といった心理学や哲学にまで踏み込んだ、「脳」に関する講義録です。皆さんの知的好奇心を大いに刺激してくれる一冊になるでしょう。			
ネット依存症	樋口進	PHP新書	2013	津村秀樹
参考図書	廣中直行著『依存症のすべて「やめられない気持ち」はどこから来る?』(こころライブラリー、2013年)では、依存症全般について、生物学的メカニズムも含めて、分かりやすく解説されています。どちらの書籍を選んでもかまいません。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	インターネットの利用可能地域の拡大、高速化、モバイル化によって、インターネットの普及率が世界的に高まった。インターネットは情報収集、娯楽、仕事、学業、生活などに欠かせない便利なツールになっている。一方で過剰な使用や依存により精神的、身体的健康状態を損なう原因にもなっており、現在、喫緊の課題としてインターネット依存の予防や治療のための取り組みが進められている。本書では、精神医学や心理学の立場からインターネット依存とその対応について学ぶことができる。			
科学者は戦争で何をしたか	益川敏英	集英社新書	2015	斉藤隆仁
参考図書	同じスタンスで書かれた本として、池内了著「科学者と戦争」(岩波新書)2016年があります。こちらは過去と現在をより広く、そして深く対比させることで、科学と軍事研究の関わりについて俯瞰的にとらえたうえで、本質に迫ります。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	益川さんはノーベル賞物理学受賞での記者会見で「たいして嬉しくない」と発言したことで有名です。そんな彼が、自身の空襲体験をノーベル賞でなぜ語ったのでしょうか。最先端の研究者の平和に対する思いを知り、そして大学生活を通して自分は何ができるかを考えてほしいと思います。			
異端の統計学ベイズ	シャロン・バー チュ・マグレイン	草思社	2013	石田基広
参考図書	本書は物語風に書かれているので特に前提知識は必要としない。また、参考図書など考えず、この本だけを味わってほしい。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	人工知能(AI)が囲碁将棋で人間の名人に連勝したことが報じられている。現在のAIは自ら学習するアルゴリズムを身に着けていることに特徴がある。本書はAIの根幹となっているベイズ統計について、その応用の歴史を追っている。ベイズ統計によるAIははたしてどこまで人間の推論に迫れるのか、その問を著者とともに考えてほしい。			
嘉納治五郎 -オリンピックを日本に呼んだ国際人-	真田久	潮文庫	2018	佐藤充宏
参考図書	推薦図書のみでもよいと思いますが「金栗四三-消えたオリンピック走者」(潮文庫)を読めば、またアングルを変えて嘉納治五郎の功績やその時代のスポーツ文化を知ることができ、理解が深まると思います。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	嘉納治五郎は、講道館柔道の創始者という肩書だけではなく、嘉納塾、宏文学院などの学校を開き、多くの人材育成に尽力してきた。彼自身は柔術に最先端のスポーツ力学を取り入れ、日本スポーツの近代化に貢献し、JOC委員として近代オリンピックムーブメントをけん引、日本体育協会の設立に寄与している。明治期から大正期に向けて日本の近代スポーツ文化の礎を築いた歴史的な社会背景を知ることができる。			
バッタを倒しにアフリカへ	前野ウルド浩 太郎	光文社新書	2017	片山真一
参考図書	より専門的な視点で取り組みたい場合には、同じ著者の『孤独なバッタが群れるとき-サバクトビバッタの相変異と大発生(フィールドの生物学)』(東海大学出版、2012年)という著作があります。			
備考 (推薦図書選択の ヒントなど)	筆者は昆虫が専門の若手研究者。農作物を食い荒らすサバクトビバッタを日本の研究室という密室で研究することに疑問を感じ、単身アフリカモーリタニアの研究所に赴く。現地での悪戦苦闘をユーモアを交えて描く。真っ直ぐ夢に向かう姿勢に元気を分けてもらえます。			

※ 参考図書(関連本をもっと読んでみたい、あるいは、別の観点から対象を見てみたい、という人のための本)